

学院部「伝道学」天岸淨圓

前期では、現代の日本社会で宗教に対する意識が極めて稀薄で曖昧な中、宗教本来の機能を理解し、伝道する者自身の宗教性を再認識してゆきたい。特に、昨年からつづけている「古事記」をテキストにして近代の国家による宗教政策がどのように実施されたかを学んでゆく。混迷する現代にあって宗教活動の重要性を考えたい。

テキスト 「古事記」 中村啓信訳注 角川ソフィア文庫